

琵琶湖のコハクチョウ

堀野善博

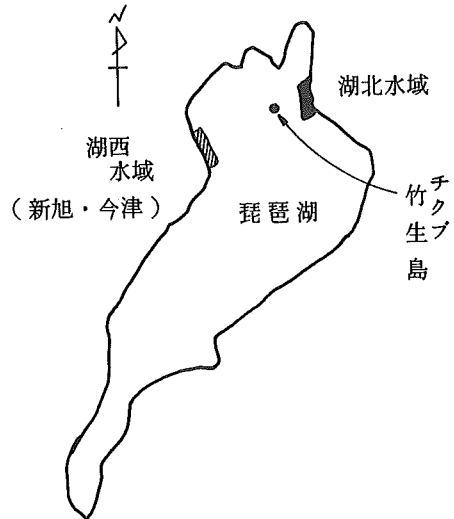
日本の内陸部では、琵琶湖がコハクチョウ渡来の南限地であると言われている。この琵琶湖で、コハクチョウ渡来状況をあきらかにするため、昭和56年から新旭町・今津町湖岸で調査してきた。

その方法は、この両町の湖岸に10ヶ所の観察地点をきめ、毎朝午前9時を中心に観察・調査してきた。今までの観察・調査から次の三点について考察してみたい。

1. 琵琶湖西岸におけるコハクチョウの初認・終認・最多渡来数

今までの記録を一覧表にした。この表をみると、10月下旬から11月上旬に渡来し、3月中・下旬に北国へ飛び立つが、暖冬の年は2月中に帰ることもある。

最多渡来数は、昭和61年度の61羽で、近年は40～50羽となっている。



2. 琵琶湖西岸水域と北岸水域の交互移動

観察・調査をされていて疑問に思うことは、毎日の遊泳数の変動の大変大きいことである。これは、コハクチョウが琵琶湖西岸水域に限定せず、もっと広い範囲の水域を移動しているのではないかと予想される。

広い琵琶湖で渡来シーズンを通じて多数のコハクチョウが遊泳しているのが竹生島をはさんだ湖西の新旭・今津町湖岸と、湖北の湖岸・びわ町湖岸である。この両岸水域で遊泳しているコハクチョウが交互に移動していることを実証する一方法として、両水域のコハクチョウの遊泳数のデータを比較し

年 度	初 認 日	最 高 渡 来 数			終 認 日
		数	月・日	地 点	
昭56年度	12月16日	23	1. 27	A B	3月6日
57	11. 13	12	12. 29	D	1. 12
58	11. 25	12	12. 10	B	3. 26
59	10. 31	26	12. 24	C D	3. 4
60	11. 1	19	1. 10	F	3. 15
61	11. 8	61	12. 18	C F H I	2. 16
62	11. 1	56	11. 28	A B C F	3. 4
63	11. 10	42	1. 2	C	2. 12
平成元	10. 30	48	11. 18	A E H	2. 25
平成2	10. 25	33	2. 7	D H I	3. 19
平成3	10. 29	53	11. 29	A B F	4. 5

琵琶湖西岸のコハクチョウ渡来状況

てみた。(表・図)

同じ琵琶湖の湖岸であっても、湖西と湖北ではコハクチョウの生息環境に大きな相違がある。湖北の湖岸は湖底が遠浅で、餌になる水草が豊富で、沖には小さな島が散在しているので、夜間はそこへ上陸して安心して眠ることができる。

一方、湖西の湖岸には遠浅になっている所が少なく、沖にはねぐらになる島がないため、コハクチョウは川の先端にできた砂浜で眠っている。

本年度の両水域におけるコハクチョウ遊泳数の調査結果のデータからわかるように、生息しやすい湖北水域の遊泳数が湖西水域の約3倍になっている。

しかし、グラフの目盛を湖西1、湖北3とすると、大体似た数の変化の傾向になった。また、初認、終認日も殆んど似ている。以上のことから両水域を交互に移動しているものと推察される。

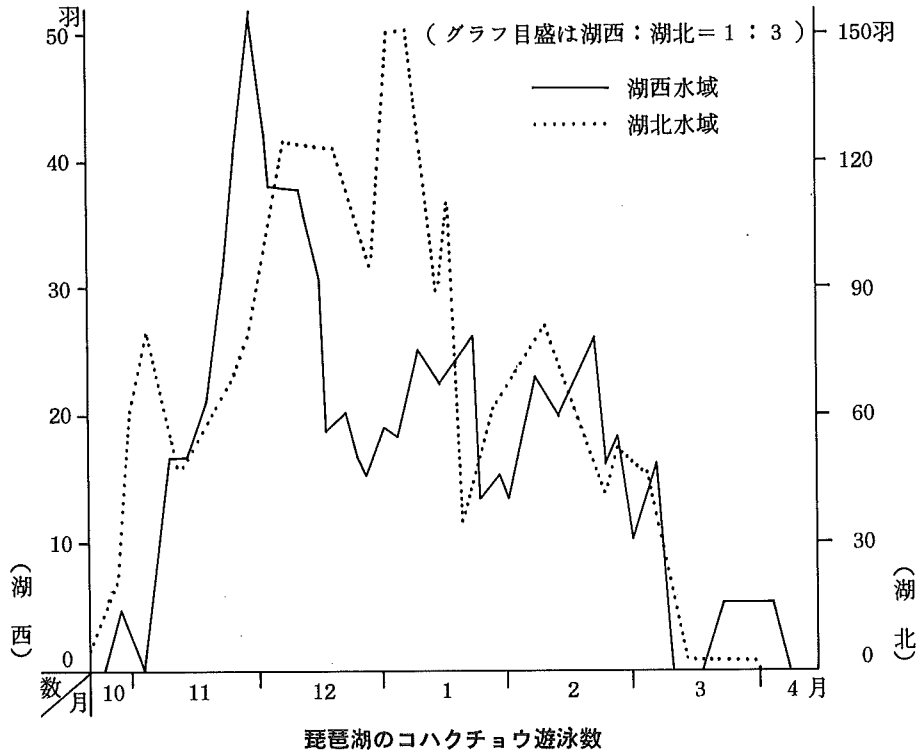
平成3年度 琵琶湖のコハクチョウ遊泳数

調査者 新旭町付近…堀野善博，乗原俊雄，橋本万次，松見 茂
湖北町付近…清水幸男，吉川光弘，仁科久雄，その他

日	10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月	
	新旭	湖北	新旭	湖北	新旭	湖北	新旭	湖北	新旭	湖北	新旭	湖北	新旭	湖北
1日～3日			0	59	37	—	19	151	13	—	0	46	5	—
4～6			0	79	20	—	18	152	8	8	16	48		
7～9			9	72	37	124	3	—	23	—	0	—		
10～12			16	—	3	—	24	—	12	81	0	31		
13～15			15	47	20	—	11	88	20	—	0	2		
16～18			22	—	31	28	22	110	26	—	0	—		
19～21			31	—	19	123	4	—	0	—	5	1		
22～24		5	15	67	21	95	26	35	14	—	5	—		
25～27		12	23	77	16	—	13	—	18	43	5	—		
28～31	5	20	53	—	14	—	15	62	10	54	5	1		

凡例(1日～3日)…1日～3日の最高遊泳数を記載

	初認日	終認日	最高日・数
新旭	10月29日	4月3日	11月29日 53羽
湖北	10月24日	3月29日	1月5日 152羽



3. 北帰前の陸上での採餌

昭和56年から平成元年までは、湖西水域へ渡来してきたコハクチョウは北帰直前まで湖底の水草（コカナダモ、オオカナダモ、ネジレモ等）倒立してたべていた。

ところが、平成2年度は3月15日～19日（終認日）に成鳥2羽と幼鳥4羽が今津町湖岸近くのたんぼの中で、終日餌をあさっていた。

平成3年度は3月26日～4月3日（終認日）に成長3羽と幼鳥2羽が新旭町湖岸近くのたんぼの中で、終日餌をあさっていた。



たんぼの中で採餌するコハクチョウ（平成4.4.3）

なぜこのような行動をするようになったのか。その理由等について教えていただきたい。